

『日本リウマチ学会 関節リウマチ診療ガイドライン 2024 改訂
—若年性特発性関節炎 少関節炎型・多関節炎型 診療ガイドラインを含む』
正誤表

この度は、上記書籍をご購入くださいますようお願いいたします。本書に以下の誤りがございました。訂正させていただきますとともに、謹んでお詫び申し上げます。

頁	箇所	誤	正
p. 82	右段 見出し④パネル会議 での意見 6~7 行目	重篤な有害事象および重篤な感染症も 軽度の増加が認められること	重篤な有害事象および重篤な感染症も 認められること
p. 91	右段 見出し①利益と害の バランスの評価 1~2 行目	ACR50 達成が-47.6 である。参考とし て、ACR20 達成の NNT は-62.5,	ACR50 達成が計算不能(-47.6)である。 参考として、ACR20 達成の NNT は計算不 能 (-62.5),
p. 95	左段 見出し①利益と害の バランスの評価 10 行目	重篤な感染症の NNH が 1,000 であった。	重篤な感染症の NNH が計算不能であっ た。
p. 108	右段 見出し①利益と害の バランスの評価 6~7 行目	①RP→RP 群との比較で 0, ②BS→BS 群 との比較で 0,	①RP→RP 群との比較で計算不能, ②BS →BS 群との比較で計算不能,
p. 194	右段 6~7 行目	TNF 阻害薬と MTX の曝露による影響を みた論文が	TNF 阻害薬の曝露による影響をみた論 文が
p. 198	右段 6~7 行目	(SASP + MTX 群 : RR = 0.36, 95% CI [0.81, 2.29],	(SASP + MTX 群 : RR = 1.36, 95% CI [0.81, 2.29],

2024 年 5 月
診断と治療社 編集部